

はこまち通信 クーポラ

2020.4

vol. **52**

まちづくりセンターからのお知らせ

『第16回NPOまつり』は 開催を見送ります



Contents

特集

この1年を振り返る ...P2

市民活動団体のご紹介
函館圏フリースクール すまいる
まちセンとSDGs ...P4

スタッフ連載ページ
『先輩に聞いてみました!』 最終回
...P5

クーポラ便り SNSでこの1年を振り返る
配布先・問い合わせ先 ...P6

INFO & TOPICS ...P7

センター長 丸藤の
『今伝えたいこと』 ...P8

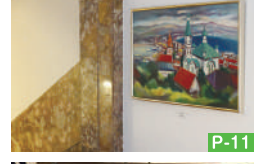
2019年度もたくさんの方に
ご利用いただきました。くわしくは
次ページの特集記事をご覧ください。



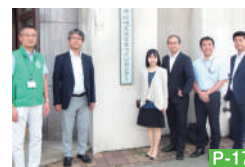
- まちづくりセンターで行われている講座案内や市民活動団体などの詳細は、ブログやホームページで公開中です。
- まちづくり、市民活動、各種助成金、移住・定住に関する問い合わせなど、お気軽にご相談ください。



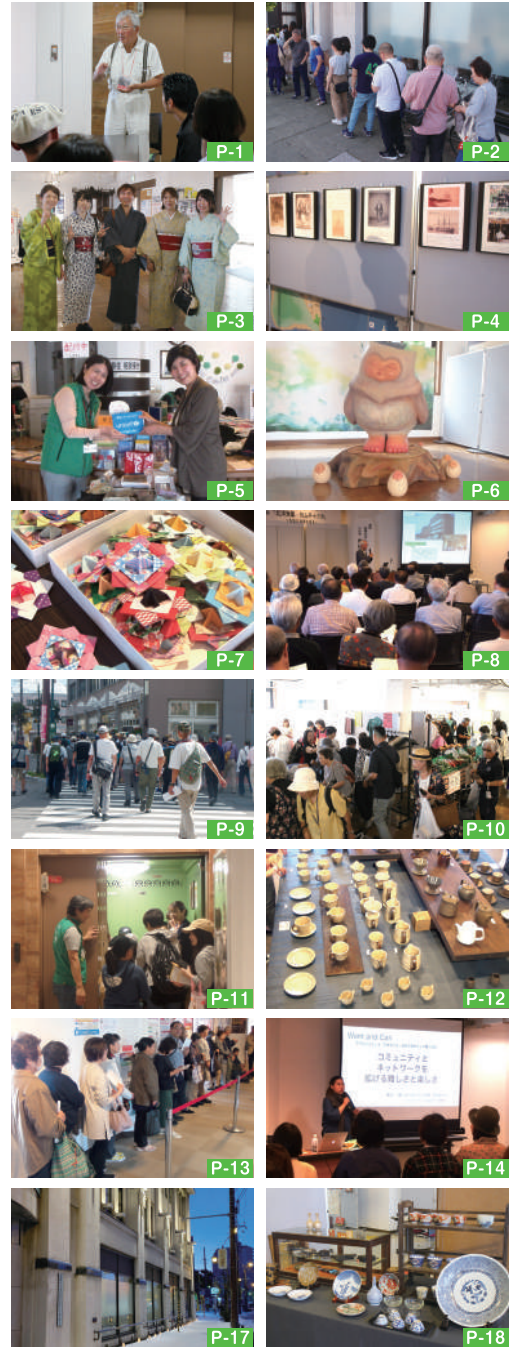
4～5月	★『みんなでチャレンジ!まちセンSDGsクイズラリー2019』展示	P-1
4月	昨夏より自然発生的にはじまった寄せ書きが好評につき、5階に専用ホワイトボードを設置	
5月	☆まちセン茶論番外編『海と硝子』へ行こう!	P-2
5月	インターンシップによる『SDGsイシューマップ』製作・展示	P-3 P-4
6～7月	函館マラソン盛り上げ隊『チームもみの木』オフィシャル応援団として支援活動(初企画)	P-5
7月	★『第15回NPOまつり』(同時開催:夏休み工作フェスティバル)開催 SDGsで団体紹介、SDGsゲームコーナー設置	P-6,P-7 P-8,P-9
8月	☆まちなか案内人 移住希望者のご案内	
8月	『チラシ大賞2018』選定	
9月	★『“災害に備える”情報ポスター展』開催	P-10
9月	伊藤 郁子氏の絵画をまちづくりセンター内に展示	P-11
9月	SDGsイベントへのブース出展「2030希望の虹を作ってみよう」 HIF主催・函館蔦屋書店にて開催	P-12
10月	★『あなたの活動を100倍効果的にする SDGsカードゲーム』開催	P-13 P-14
11月	☆まちセン茶論番外編『ティーショップタ日』へ行こう!	
12月	『チームもみの木』による『はこだてクリスマスファンタジー2019』 盛り上げ企画 スタンプラリー・カード配布・しおり作り体験の開催	P-15
12月	★『まちセンクリスマスコンサート2019』開催	P-16
12月	3階市民活動支援フロア『まちづくりの宝箱』コーナーのリニューアル(詳細はP4)	
12月	全道中間支援研修会開催(北海道NPOサポートセンター主催)	
2月	★『災害用伝言ダイヤル171模擬体験』開催(詳細はP7)	
3月	コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館	



- 2019年度の視察受け入れ件数…15件109名 P-17
 - 『いぶり基金』への募金箱設置…送金(2018年9月より継続中)
 - 水曜マルシェ…毎週水曜日に開催(3月より休み)
 - ☆まちセン茶論…2019年度は11回開催(詳細はP7)
 - 古着回収ボックスの設置及び終了(2018年4月～2020年3月まで 函館市環境部より)
 - 市民救命員養成講座…4回開催 累計受講者数44名(救命のリー普及会主催)
 - 救命講習会…10回開催 累計受講者数116名(救命のリー普及会主催) ※詳細はP7
 - レンタサイクル「はこりん♪」
まちづくりセンターにおける貸し出し拠点の契約終了 P-18
- ※2020年度の事業については「キラリス函館1階ショップえぞりす」までお問い合わせをお願いします

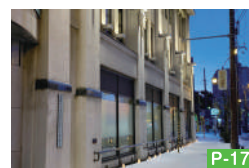


- 4月・9月 函館西部地区バル街 同時開催:きものdeバル P-1,P-2
- 4～5月・6月・8月 NPO “箱館写真”の会 写真展 P-4
- 2019年3～5月 ハコダテだらせんプロジェクト 募金箱の設置 P-5
- 2018.7月～2019.6月 コンクリートカード配布
- 6～7月 はこだてトリエンナーレ2019 P-6
- 7月 はこだて七夕まつり 折り紙のプレゼント P-7
- 8月 北洋漁業カムチャツカ ～先祖の漁場を探る～ P-8
- 8～10月 函館ぶら探訪集合場所 P-9
- 9月 みんなおいでよバザー P-10
- 9月 カルチャーナイト2019 P-11
- 9～10月 第3回はこだて工芸まつり
「コーヒーのある暮らし」展 P-12
- 10月 十字街商盛会の秋まつり P-13
- 11月 Chaos Festival vol.31
- 11月 「世界に一冊だけの本」展
- 11月 函館で経験を共有する時間
- 11月 Want&Can:「やりたいこと」と「できること」 P-14
- 11～12月 天使たちのクリスマス絵画展 P-15
- 12月 ローソクポスト設置 (詳細はP7)
- 12月 函館白百合学園中学高等学校カレンダー市 P-16
- 1月 kkworlDイラスト展2020
～Happy world in Hakodate～
- 1月 函館ホリエモン万博
- 1月 どんぐり2 カレンダー市
- 2月 シーニックdeナイト2020 P-17
- 6・9・12月 函館骨董フェア P-18



《その他》

伝説・函館山皿
花しるべな会
バイバイ大間原発
はこだてウォーク



～『第16回NPOまつり』開催見送りのお知らせ～

毎年夏に開催のNPOまつりは、コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を見送ります。
 去年ご参加頂いた市民活動団体のみなさんには、発送をもってご案内いたします。
 何とぞご理解のほど、よろしくお願いいたします。

2020
まちセン
スタッフ

- ◆センター長／丸藤
- ◆センター長代理／大矢
- ◆副センター長／水戸部
- ◆常勤スタッフ／榎本・谷口・荃沢・茅森・櫻田
- ◆非常勤スタッフ／横内・澤田石・中川・遠藤





市民活動団体のご紹介

会員募集中！
共に活動してみたい方は
気軽に各団体に
お問い合わせください。

～ いつ来ても いつ帰っても ～ 一社) 函館圏フリースクールすまいる

2012年から、「いつ来ても、いつかえっても、なにをしても、なにもなくても」をコンセプトに、不登校の子ども達と一緒に過ごす活動を続けています。

現在は、富岡町の一軒家を活動拠点として、月～木曜日の10時から15時まで「フリースペース」を開設し、毎日小学生から高校生年代まで10名程度が利用しています。メンタルフレンドと学習支援を合わせた「すまいるプラス」や若者対象の「すまいる笑会」は、週1回から個別で活動し、訪問利用者も増えています。相談の他、毎週木曜日13時から保護者対象の「おやさロン」を開いています。

子どもや保護者の居場所として、様々な関係機関とつながりながら、子どもの成長を見守る地域の活動のひとつでありたいと思っています。また、一口1,000円からの賛助会員を募集しています。



活動の様子をwebやSNSにて発信しております。どうぞご覧ください。

●一般社団法人 函館圏フリースクールすまいる 代表者/庄司 証
設立/2012年 賛助会員/1口1,000円(何口でも可)
住所/〒041-0811 函館市富岡町2丁目19-5 電話/070-4156-3195 FAX/020-4665-2265
Mail/hakodate.smile@gmail.com HP/ <https://hakodate-smile.jimdofree.com/>



団体設立のきっかけや活動内容などの詳細はまちセンHPで
<http://hakomachi.com>



まちセンとSDGs SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

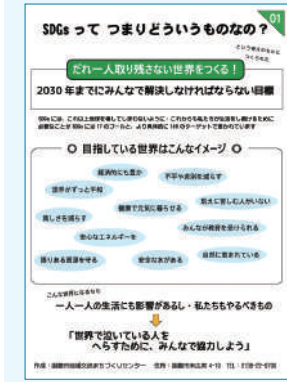
『まちづくりの宝箱』を3Fに設置しました

市民活動やまちづくりについて詳しく知りたい方、災害への備え、SDGs(エスディージーズ)に興味をお持ちの方に役立つ資料をご用意しました。カテゴリーは「市民活動のヒント!」「SDGsをひも解くチラシ」「はこまち通信や防災」「他市のパンフレットなど」の4つです。



市民活動団体のみなさんはもちろん、まちづくりに関心をお持ちの方や、企業の方にも参考となるヒントを盛り込みました。資料を読んで、さらに疑問に思うことや困りごと、ご意見、ご感想などありましたらスタッフまでお知らせください。

詳細はコチラ▶



先輩に聞いてみました! 最終回

カリフォルニアベイビー オーナー 柴田 修平さん編



NPO法ができて22年がたちました。函館において、市民活動・まちづくりを一生懸命に活動してきた先輩に、大事にしてきた思いや考えなどを聞きました。まちづくりに関心のある方、これから活動してみようという方へお届けできれば幸いです。

カリフォルニアベイビーは、まちづくりセンター近くであり、西部地区に住んでいる方や勤めている方、観光客の胃袋をがっちりつかんでいます。『カリベビ』という愛称で地域に愛されているお店です。長年函館のまちと歩んできた話をお聞きしました。

「人が定住してまちができる」という考えのもと、地域の人に来てもらえるように日々を積み重ねていき、「その結果として現在がある」とオーナーの柴田さん。

× 建物との出会い

当時は、漁業や造船業の売上げが落ち、これからは「五稜郭・本町の時代」と多くの方に言われたのを覚えています(旧丸井今井百貨店[現在はまちづくりセンター]は、1969[昭和44]年に本町に移転しています)。駅前・大門が繁華街として人が集まり、五稜郭は第二の繁華街という感じでした。

現在の西波止場に東日本フェリーターミナルがあった時は、丸吉食堂という飲食店がありました。その後閉店したと聞いて、カリフォルニアベイビーを開業することにしました。

建物が気に入り家賃が予算内だったのも、商売を始める大きな決め手となりました。お店をオープンするにあたり、学生時代の仲間や友達が改装を手伝ってくれて、今でいうリノベーションを自分達でして、アメリカンな雰囲気になりました。天井が高く、大きな窓が特徴です。

× 時代とともに

コンビニもなく、気軽に食事ができるお店が今ほどなかったため、夜になると地元の大学生が食べに来てくれるようになり常連客が増えていきました。ランチは、近くで働いている会社員の方が食べに来てくれて、支えられました。

また、オープンして間もない頃に、女性ファッション誌に取り上げてもらい、その後、色々な雑誌にも取り上げても



柴田 修平オーナー

～ カリフォルニアベイビー ～

カリフォルニアベイビーは、1976(昭和51)年にオープンしたアメリカンスタイルのコーヒーショップです。シスコライスは看板メニューで、食べ物はもちろん輸入ビールも人気があります。

大正時代に建てられた簡易郵便局を再利用した建物で、インテリアはアメリカに行った際に直接買い付けて来た本場の物ばかり。(HPより一部抜粋)

らったことが追い風になり、当時のカクタスレストラン、クリフサイドに続く、地域で『三番目のお店』と言われるようになりました。元町や西部地区が観光地として取り上げられ、観光客が来るようにもなりました。

× これまでとこれから

日々、シスコライスを中心に売上げ、ボリューム感と安さが売りで、それを守ってきた結果、今日まで来たという感じですね。また、『いつでも営業している』『いつでも食べられる』という『安心感』を大事にしています。今では、3世代で食べに来られるお客様もいらっしゃいます。当時食べていた味を守り続けてきた結果だと思えます。

旧町名の『東浜町』から、今では『ベイエリア』と呼ばれるように、まちの名称や雰囲気は様変わりしましたが、変わらない変えないものがあったのもいいですね。

柴田さんから、時代に応じて変えるところと変えないところを聞くことができました。色々な活動をされている方の参考になったのではないのでしょうか。

今号をもって、連載「先輩に聞いてみました!」は終了です。函館市に住んで丸6年、色々な方と出会うことができ、函館の人の懐の深さ、人情に助けられ、この企画が実現しました。ありがとうございました。



谷口 真貴 たにくち まさき

1F 喫茶コーナー cafe DripDrop

- 営業時間 / 10:00～18:00 ● 定休日 / 水曜日・施設休館日
 - 自家焙煎、ハンドドリップのコーヒーで一息つきませんか?
- 最新情報はお店のSNSをご覧ください▶



☞【オススメ】ブレンドコーヒー 350円

1F 福祉の店 どんぐり 2号店

- 営業時間 / 10:00～16:00 ● 定休日 / 土日祝日・施設休館日
- 授産製品を扱っています。函館みやげにオススメのクッキーをはじめ、布バッグや布ぞうりなどのハンドメイド雑貨も豊富です。

☞【オススメ】土偶クッキー 800円(2枚×6袋入 税込)





はこだてクリスマスファンタジーを盛り上げるため、12月の土日祝日に外観ライトアップを実施する告知(12月)



おかえりなさい函館へ! GLAYライブ2日目、大勢のGLAYファンで盛り上がるまちセンの様子(1月)



はこだてクリスマスファンタジーのメインツリーがベイエリアに到着。雨上がりでツリーのバックに虹がかかりました(11月)



【4位】函館港イルミネーション映画祭のポスター到着(11月)

【5位】第3回はこだて工芸まつり「コーヒーのある暮らし」展(9月)

【6位】函館蔦屋書店SDGsイベント告知(9月)

【7位】カフェ海と硝子に行ってきました(5月)

【8位】ご当地カラーマンホール設置(4月)

【9位】エレベーターを取材していただきました(5月)

【10位】函館西部地区バル街前売チケット完売のお知らせ(8月)

ブログ更新のお知らせやイベント情報などを発信しています。まちづくりセンターのfacebookページもお気軽にフォローしてくださいね



まちづくりセンター **facebook**

配布先・問い合わせ先

『はこまち通信クーポン』2020年4月 vol.52
次号は6月30日発行予定です(年4回)

発行/函館市地域交流まちづくりセンター
住所/〒040-0053 北海道函館市末広町4-19
TEL/0138-22-9700
FAX/0138-22-9800
開館/9:00~21:00
休館日/12月30日~1月3日

<http://hakomachi.com>



このほか器材点検のため月1回程度、臨時休館する場合があります。詳しくはセンター内やWebでお知らせしています。

建物裏手に駐車場あり。2時間まで無料。

指定管理者/
NPOサポートはこだてグループ
(2007年4月~)



『はこまち通信クーポン』編集室だより

自宅にいる時間が多い現在、自身と所属の団体が成長するための機会として、時間を有効活用しましょう。そのためには、未来を想像して、今できることを創造していきましょう。

(編集長/谷口 真貴)

●主な配布先(敬称略)

函館市役所1F/亀田支所/湯川支所/銭亀沢支所/戸井支所/恵山支所/楳法華支所/南茅部支所/函館市中央図書館/渡島総合振興局/函館市企業局アクロス十字街/総合保健センター/函館アリーナ/函館市女性センター/函館市青年センター/函館市公民館/函館コミュニティプラザGスクエア/函館市青少年研修センターふるる函館/中島れんばいふれあいセンター/函館市総合福祉センターあいよる21/函館市勤労者総合福祉センターサン・リフ函館/亀田交流プラザ/どさんこ交流テラス(東京 有楽町)取材に協力くださったみなさま、施設等

『はこまち通信クーポン』に関するご意見、ご感想をお寄せください。お名前、ご住所、お電話番号を明記の上、メール info@hakomachi.com まで



2/11
(火)

サロン
まちセン茶論 毎月第2火曜日
主催：移住サポートセンター

市民と移住者の交流の場として月1回開催しています。お茶を飲みながら、函館のことや聞いてみたいことなど情報交換をする会です。感染拡大防止



のため、開催を見合わせています。

救命講習会

1/18
(土)

いざという時に対応できるよう、救命処置を身につけることを目的に開催しました。胸骨圧迫やAEDの使い方などを学びながら体験しました。講習会での体験をいかして、命のバトンをつないでいきましょう。



2/15
(土)

まちセン冬の防災講座
災害用伝言ダイヤル171模擬体験

災害時を想定して伝言ダイヤルの使い方を学びました。参加された方より「この講座チラシを見るまで『171』のことを知らなかった」「録音するときに何を残せばよいか悩んだので、事前に体験できてよかった」「実際に相手の声が聞けるのがいいですね」などの感想をいただきました。



を

ローソクポスト設置

12/4(水)
より継続中

ご家庭で不要となったローソクがありましたら、まちづくりセンターに設置の『ローソクポスト』までお持ちください。みなさんの行動が障害者就労支援へとつながります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

寄せられたローソクは着火剤に生まれ変わります。



●お問合せ／障害者就労移行支援事業所ジョブシード
電話 0138-83-8018 (平日9:00~17:00)

『はこまち通信クーポラ』の【クーポラ】とは？

教会などの屋根上部に取り付けられた、半球系の構造物を指します。

1923年に建てられた旧丸井今井呉服店函館支店をリノベーションし、2007年にオープンした函館市地域交流まちづくりセンター。その外観を印象づける『クーポラ』を広報誌でも使用しております。



新型コロナウイルスの影響に伴う社員総会開催等の扱いについて

3月に年度末を迎え、4~6月にかけてNPO法人の社員総会を開催予定の団体も多いことと思います。新型コロナウイルスが感染拡大している状況の中での社員総会開催について、内閣府のNPOホームページに『社員総会に関するQ&A』が掲載されましたのでお知らせします。

今後の状況次第では、さらなる対応策が必要となる場合も予想されます。新しい情報が入り次第、HPやブログでお知らせする予定です。

【内閣府のNPOホームページ】

(新型コロナウイルス感染拡大に係るNPO法Q&A 2020年4月15日現在)
<https://www.npo-homepage.go.jp/news/coronavirus/coronavirus-qa>



お問い合わせ：函館市地域交流まちづくりセンター ☎0138-22-9700



Hakodate Community



Design Center vol.52 2020年4月

スタッフより一言／『まちセン茶論』や『水曜マルシェ』の再開についてはHPでお知らせします (櫻田)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う社員総会開催等の扱いについて



センター長 丸藤の「今伝えたいこと」

毎年年末になると「今年の重大ニュース」が各マスコミから発表されます。自分が考えていた中身とここが違ったとか、そう言えばこんな事もあったなあなどと思いながら一年を振り返るのを楽しみにしている方も多いかもしれません。

しかし今年は、始まってまだ数ヶ月しか経っていないのに、恐らく世界中の全ての人々が「最も深刻だったニュース」にあげるものが決まってしまうでしょう。

新型コロナウイルスは、ある程度の時間と、ある程度の予測を突き付けられながら、一見すると普段となにも変わらない景色の中、あっという間に迫ってきました。それに対し人類が獲得している防御策は、外に出ないなどとても脆弱でしかも大きなリスクを伴うものしかありません。新型コロナウイルスはそうやって、経済も文化も、家庭も医療も福祉も、時間も心も、仕事も居場所も、とにかく全てのものを奪い取っていきこうとしています。しかも、免疫やワクチンができるまでこの状況は続きます。私たちは、世界史に記載されるほどの苦しみの中に居ると言ってもいいでしょう。



人類はもちろん地球上の生物は、これまで多くの苦しみを乗り越えてきました。そしてその苦しみを乗り越えていく中で、新しい仕組みや技術、考え方などをつくりあげ成長し、進化することで現在に至っています。今必要なのは、具体的なデータや客観的事実に基づきながら効果的な解決方法を見出し、成長や進化につなげていくことだと思います。

そのためには、世界の様々な立場の人々が連帯し、それぞれができることを着実にやっていくことが必要だと考えます。SDGs 17の「パートナーシップで目標を達成しよう」を実現させる時が来ています。

新型コロナウイルスは、こここのところ自分勝手になり過ぎていた人類を試すように現れました。今このウイルスに勝つことは、新しい価値観を持った世界をつくることにつながります。私はそこに期待をこめ、たとえ微力ではあっても私ができることを着実に進めていきたいと思っています。

最後になりましたが、この瞬間も現場に立ち続け困難な状況にある人々を支援してくださっている全ての皆様に心から感謝いたします。

